



市長年頭あいさつ

将来にわたつて

安心して暮らしやすくなります



新年明けましておめでとうございます。

市民のみなさんにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃から市政運営に対し、深いご理解と温かいご支援を賜っておりますことに、心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、本市は、北海道庁による深川市設置告示から130年、市制施行から60年の節目の年を迎え、多くのみなさんのご列席のもと、記念式典や記念講演会を行い、開拓に尽くされた先人に感謝を申し上げるとともに、これからのさらなる発展に向けて決意を新たにしたいと考えております。

また、本市の基幹産業である農業は天候にも恵まれ、コメやそば、大豆やリンゴをはじめ、多くの農作物において順調に生育が進み、収量・品質ともに良好な出来となりました。特に主要作物の水稲は、その年の収穫量を示す作況指数が106の「良」で4年連続の豊作となり、さらに食味が良いとされる低たんぱく米の割合も前年を大きく上回る結果となりました。本市のおいしい農作物をみなさんにお届けできることは大変喜ばしい限りで、生産者や関係者のみなさんの日頃からの努力に敬意を表するとともに、今年も豊穰な年となるよう引き続き関係機関・団体と連携を図りながら、農業の振興発展に努めてまいります。

さて、市では、市民負担の軽減と待ち時間の短縮を図ることを目的に、本年2月から申請書を手書きせず本人確認と署名のみで住民票や戸籍謄本などの証明書を申請することができるよう「書かない窓口」を導入します。さらに、令和3年から工事を進めてきた市役所新庁舎は、防災拠点機能の強化を図るとともに、各種窓口を低層階に集約しバリアフリー化を徹底するなど、多様化する市民ニーズに的確に対応し、きめ細やかなサービスが提供できる庁舎として、本年秋に開庁を迎えます。また、検討を進めている生涯学習機能とバスターミナル機能を中心とした「複合施設」は、市民のみなさんや議会のご意見を踏まえ、昨年11月に「深川駅周辺複合施設整備基本計画」を策定し、JR深川駅西側に建設することとなりました。市民生活の利便性向上やまちなかのにぎわい創出が図られる施設となるよう、着実に整備を進めてまいります。

近年、私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化し、全国的に加速している人口減少と少子高齢化をはじめ、デジタル技術の急速な発展や大規模な自然災害の発生、さらにこれに加え、ロシアのウクライナ侵攻による原油価格の高騰と急速に進んだ円安による物価の高騰など、今まさに時代の転換期を迎えさまざまな課題に直面しています。本市としましては今後、国や道の動向を注視しながら、昨年策定した第六次深川市総合計画に掲げる「豊かな暮らしと自然が調和した 田園都市 ふかがわ」を目指す都市像に、市民のみなさんが心身ともに健康で、安心・安全な暮らしを享受できるよう、今後ともまちづくりを推進してまいりますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、今年一年が市民のみなさんにとって、明るく幸多き年となりますことをご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

深川市長 山下貴史

